

# 新潟市の財務書類

## 【資料】

[統一的な基準]

- 貸借対照表（平成28年3月31日現在）
- 行政コスト計算書及び  
純資産変動計算書（平成27年度）
- 資金収支計算書（平成27年度）
- 政令市の財政指標参考比較
- 財政指標の用語及び算出の仕方



【様式第2号及び第3号(結合)】

## 一般会計等行政コスト及び純資産変動計算書

自 平成27年 4月 1日  
至 平成28年 3月31日

(単位:円)

科目	金額		
経常費用	301,752,491,660		
業務費用	172,343,578,991		
人件費	54,755,805,109		
職員給与費	46,439,468,524		
賞与等引当金繰入額	2,775,678,154		
退職手当引当金繰入額	1,995,425,911		
その他	3,545,232,520		
物件費等	110,847,453,055		
物件費	68,539,152,764		
維持補修費	11,150,221,602		
減価償却費	31,125,968,521		
その他	32,110,168		
その他の業務費用	6,740,320,827		
支払利息	5,742,495,245		
徴収不能引当金繰入額	143,265,822		
その他	854,559,760		
移転費用	129,408,912,669		
補助金等	35,105,772,601		
社会保障給付	55,596,750,420		
他会計への繰出金	37,716,161,688		
その他	990,227,960		
経常収益	13,579,042,790		
使用料及び手数料	9,219,377,358		
その他	4,359,665,432		
純経常行政コスト	288,173,448,870		
臨時損失	124,504,507		
災害復旧事業費	0		
資産除売却損	124,504,507		
投資損失引当金繰入額	0		
損失補償等引当金繰入額	0		
その他	0		
臨時利益	576,720,212		
資産売却益	0		
その他	576,720,212		
純行政コスト	287,721,233,165		
財源	261,402,318,625		
税収等	191,349,950,519		
国県等補助金	70,052,368,106		
本年度差額	-26,318,914,540		
固定資産等の変動(内部変動)			
有形固定資産等の増加		-3,720,073,011	3,720,073,011
有形固定資産等の減少		28,687,330,016	-28,687,330,016
貸付金・基金等の増加		-32,146,004,968	32,146,004,968
貸付金・基金等の減少		6,581,693,332	-6,581,693,332
資産評価差額	-50,278,020	-50,278,020	
無償所管換等	5,159,841,497	5,159,841,497	
その他	-3,393,339,693	2,500,000	-3,395,839,693
本年度純資産変動額	-24,602,690,756	1,391,990,466	-25,994,681,222
前年度末純資産残高	686,935,552,807	1,281,498,838,135	-594,563,285,328
本年度末純資産残高	662,332,862,051	1,282,890,828,601	-620,557,966,550

【様式第4号】

## 一般会計等資金収支計算書

自 平成27年 4月 1日

至 平成28年 3月31日

(単位:円)

科目	金額
<b>【業務活動収支】</b>	
業務支出	272,984,373,021
業務費用支出	143,575,460,352
人件費支出	57,229,153,051
物件費等支出	79,721,484,534
支払利息支出	5,742,495,245
その他の支出	882,327,522
移転費用支出	129,408,912,669
補助金等支出	35,105,772,601
社会保障給付支出	55,596,750,420
他会計への繰出支出	37,716,161,688
その他の支出	990,227,960
業務収入	266,717,409,498
税金等収入	192,244,890,195
国県等補助金収入	61,357,646,288
使用料及び手数料収入	9,055,356,180
その他の収入	4,059,516,835
臨時支出	0
災害復旧事業費支出	0
その他の支出	0
臨時収入	0
<b>業務活動収支</b>	<b>-6,266,963,523</b>
<b>【投資活動収支】</b>	
投資活動支出	34,854,432,948
公共施設等整備費支出	28,272,739,616
基金積立金支出	5,692,329,972
投資及び出資金支出	281,055,000
貸付金支出	608,308,360
その他の支出	0
投資活動収入	16,433,345,149
国県等補助金収入	8,694,721,818
基金取崩収入	6,335,726,000
貸付金元金回収収入	507,365,391
資産売却収入	895,531,940
その他の収入	0
<b>投資活動収支</b>	<b>-18,421,087,799</b>
<b>【財務活動収支】</b>	
財務活動支出	35,989,330,279
地方債償還支出	35,953,778,195
その他の支出	35,552,084
財務活動収入	59,913,118,000
地方債発行収入	59,913,118,000
その他の収入	0
<b>財務活動収支</b>	<b>23,923,787,721</b>
<b>本年度資金収支額</b>	<b>-764,263,601</b>
前年度末資金残高	2,877,886,949
<b>本年度末資金残高</b>	<b>2,113,623,348</b>
前年度末歳計外現金残高	667,373,040
<b>本年度歳計外現金増減額</b>	<b>-90,627,242</b>
本年度末歳計外現金残高	576,745,798
<b>本年度末現金預金残高</b>	<b>2,690,369,146</b>

## 全体貸借対照表

(平成28年 3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
固定資産	2,034,750,268,017	固定負債	1,203,353,688,737
有形固定資産	1,967,223,668,244	地方債	926,847,226,396
事業用資産	578,620,007,972	長期未払金	0
土地	226,223,822,439	退職手当引当金	52,441,090,079
立木竹	36,644,616	損失補償等引当金	265,137,000
建物	723,970,642,594	その他	223,800,235,262
建物減価償却累計額	-403,625,990,686	流動負債	78,619,244,553
工作物	77,917,613,058	1年内償還予定地方債	62,014,461,365
工作物減価償却累計額	-47,201,404,962	未払金	10,759,004,883
船舶	0	未払費用	0
船舶減価償却累計額	0	前受金	2,347,350
浮標等	0	前受収益	0
浮標等減価償却累計額	0	賞与等引当金	3,724,364,015
航空機	0	預り金	693,789,862
航空機減価償却累計額	0	その他	1,425,277,078
その他	0	<b>負債合計</b>	<b>1,281,972,933,290</b>
その他減価償却累計額	0	<b>【純資産の部】</b>	
建設仮勘定	1,298,680,913	固定資産等形成分	2,036,165,436,838
インフラ資産	1,327,253,168,357	余剰分(不足分)	-1,239,481,380,242
土地	328,698,292,424		
建物	49,656,457,194		
建物減価償却累計額	-21,288,959,292		
工作物	1,398,954,257,762		
工作物減価償却累計額	-461,800,226,567		
その他	0		
その他減価償却累計額	0		
建設仮勘定	33,033,346,836		
物品	187,692,232,198		
物品減価償却累計額	-126,341,740,283		
無形固定資産	20,578,954,920		
ソフトウェア	760,794,476		
その他	19,818,160,444		
投資その他の資産	46,947,644,853		
投資及び出資金	7,040,786,400		
有価証券	0		
出資金	7,025,778,400		
その他	15,008,000		
投資損失引当金	0		
長期延滞債権	7,351,715,882		
長期貸付金	7,777,302,214		
基金	25,840,612,915		
減債基金	15,162,601,706		
その他	10,678,011,209		
その他	0		
徴収不能引当金	-1,062,772,558		
流動資産	43,906,721,869		
現金預金	24,549,101,203		
未収金	10,917,047,783		
短期貸付金	640,963,000		
基金	6,609,700,765		
財政調整基金	5,609,700,765		
減債基金	1,000,000,000		
棚卸資産	176,226,312		
その他	1,110,893,773		
徴収不能引当金	-97,210,967		
<b>資産合計</b>	<b>2,078,656,989,886</b>	<b>純資産合計</b>	<b>796,684,056,596</b>
		<b>負債及び純資産合計</b>	<b>2,078,656,989,886</b>

【様式第2号及び第3号(結合)】

## 全体行政コスト及び純資産変動計算書

自 平成27年 4月 1日  
至 平成28年 3月31日

(単位:円)

科目	金額	金額	
経常費用	503,587,320,178		
業務費用	246,982,308,348		
人件費	70,813,220,081		
職員給与費	59,494,406,733		
賞与等引当金繰入額	3,724,364,015		
退職手当引当金繰入額	2,380,417,120		
その他	5,214,032,213		
物件費等	158,961,720,346		
物件費	88,157,591,082		
維持補修費	13,529,131,908		
減価償却費	57,242,887,188		
その他	32,110,168		
その他の業務費用	17,207,367,921		
支払利息	14,044,160,396		
徴収不能引当金繰入額	637,768,300		
その他	2,525,439,225		
移転費用	256,605,011,830		
補助金等	36,843,031,949		
社会保障給付	218,688,589,492		
他会計への繰出金	0		
その他	1,073,390,389		
経常収益	63,641,700,705		
使用料及び手数料	56,473,980,876		
その他	7,167,719,829		
純経常行政コスト	439,945,619,473		
臨時損失	717,062,221		
災害復旧事業費	0		
資産除売却損	444,242,675		
投資損失引当金繰入額	0		
損失補償等引当金繰入額	0		
その他	272,819,546		
臨時利益	2,683,008,908		
資産売却益	82,250,644		
その他	2,600,758,264		
純行政コスト	437,979,672,786		
財源	419,425,954,565		
税金等	294,474,163,243		
国県等補助金	124,951,791,322		
本年度差額	-18,553,718,221		
固定資産等の変動(内部変動)			
有形固定資産等の増加		-6,257,387,867	6,257,387,867
有形固定資産等の減少		70,127,416,034	-70,127,416,034
貸付金・基金等の増加		-77,262,661,755	77,262,661,755
貸付金・基金等の減少		8,488,508,245	-8,488,508,245
資産評価差額	-50,278,020	-50,278,020	
無償所管換等	6,256,164,203	6,256,164,203	
その他	21,638,077,011	2,500,000	21,635,577,011
本年度純資産変動額	9,290,244,973	-49,001,684	9,339,246,657
前年度末純資産残高	787,393,811,623	2,036,214,438,522	-1,248,820,626,899
本年度末純資産残高	796,684,056,596	2,036,165,436,838	-1,239,481,380,242

## 【様式第4号】

## 全体資金収支計算書

自 平成27年 4月 1日  
至 平成28年 3月31日

(単位:円)

科目	金額
<b>【業務活動収支】</b>	
業務支出	447,876,500,053
業務費用支出	191,271,488,223
人件費支出	73,475,004,098
物件費等支出	101,201,077,026
支払利息支出	14,044,160,396
その他の支出	2,551,246,703
移転費用支出	256,605,011,830
補助金等支出	36,843,031,949
社会保障給付支出	218,688,589,492
他会計への繰出支出	0
その他の支出	1,073,390,389
業務収入	468,159,094,063
税収等収入	294,720,839,775
国県等補助金収入	110,442,570,832
使用料及び手数料収入	56,130,490,587
その他の収入	6,865,192,869
臨時支出	272,819,546
災害復旧事業費支出	0
その他の支出	272,819,546
臨時収入	463,489,932
<b>業務活動収支</b>	<b>20,473,264,396</b>
<b>【投資活動収支】</b>	
投資活動支出	62,329,077,616
公共施設等整備費支出	54,348,569,371
基金積立金支出	7,334,132,885
投資及び出資金支出	27,555,000
貸付金支出	618,820,360
その他の支出	0
投資活動収入	22,672,488,282
国県等補助金収入	13,947,781,411
基金取崩収入	7,092,773,000
貸付金元金回収収入	517,877,391
資産売却収入	1,114,056,480
その他の収入	0
<b>投資活動収支</b>	<b>-39,656,589,334</b>
<b>【財務活動収支】</b>	
財務活動支出	59,495,570,416
地方債償還支出	59,268,399,335
その他の支出	227,171,081
財務活動収入	76,154,518,726
地方債発行収入	76,154,518,726
その他の収入	0
<b>財務活動収支</b>	<b>16,658,948,310</b>
<b>本年度資金収支額</b>	<b>-2,524,376,628</b>
前年度末資金残高	26,496,732,033
<b>本年度末資金残高</b>	<b>23,972,355,405</b>
前年度末歳計外現金残高	667,373,040
<b>本年度歳計外現金増減額</b>	<b>-90,627,242</b>
本年度末歳計外現金残高	576,745,798
<b>本年度末現金預金残高</b>	<b>24,549,101,203</b>

## 連結貸借対照表

(平成28年 3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
固定資産	2,056,072,352,419	固定負債	1,206,452,811,256
有形固定資産	1,985,231,928,056	地方債等	928,305,672,611
事業用資産	584,442,473,165	長期未払金	231,385,090
土地	226,740,756,939	退職手当引当金	53,307,170,713
立木竹	36,644,616	損失補償等引当金	265,137,000
建物	728,291,570,139	その他	224,343,445,842
建物減価償却累計額	-406,502,579,666	流動負債	88,989,937,164
工作物	78,034,838,479	1年内償還予定地方債等	71,543,030,933
工作物減価償却累計額	-47,278,450,775	未払金	11,429,788,175
船舶	0	未払費用	0
船舶減価償却累計額	0	前受金	55,958,756
浮標等	0	前受収益	0
浮標等減価償却累計額	0	賞与等引当金	3,780,546,422
航空機	0	預り金	754,510,063
航空機減価償却累計額	0	その他	1,426,102,815
その他	11,390,785,846	負債合計	1,295,442,748,420
その他減価償却累計額	-7,569,773,326	<b>【純資産の部】</b>	
建設仮勘定	1,298,680,913	固定資産等形成分	2,056,043,363,760
インフラ資産	1,338,608,819,510	余剰分(不足分)	-1,243,053,082,454
土地	328,967,916,853	他団体出資等分	-45,101,959
建物	50,072,923,437		
建物減価償却累計額	-21,536,406,813		
工作物	1,403,586,165,616		
工作物減価償却累計額	-464,261,697,177		
その他	0		
その他減価償却累計額	0		
建設仮勘定	41,779,917,594		
物品	189,500,484,591		
物品減価償却累計額	-127,319,849,210		
無形固定資産	20,670,021,844		
ソフトウェア	771,383,688		
その他	19,898,638,156		
投資その他の資産	50,170,402,519		
投資及び出資金	1,882,692,542		
有価証券	0		
出資金	1,858,300,880		
その他	24,391,662		
長期延滞債権	7,351,879,882		
長期貸付金	6,877,302,214		
基金	35,121,200,869		
減債基金	15,162,601,706		
その他	19,958,599,163		
その他	99,570		
徴収不能引当金	-1,062,772,558		
流動資産	52,315,575,349		
現金預金	30,353,470,333		
未収金	11,233,734,248		
短期貸付金	640,963,000		
基金	7,707,415,765		
財政調整基金	6,706,292,765		
減債基金	1,001,123,000		
棚卸資産	1,332,239,478		
その他	1,144,997,211		
徴収不能引当金	-97,244,686		
繰延資産	0		
資産合計	2,108,387,927,768	純資産合計	812,945,179,348
		負債及び純資産合計	2,108,387,927,768



## 連結行政コスト及び純資産変動計算書

自 平成27年 4月 1日  
至 平成28年 3月31日

(単位:円)

科目	金額	金額		
経常費用	582,300,789,936			
業務費用	255,035,627,456			
人件費	73,089,956,457			
職員給与費	61,276,042,591			
賞与等引当金繰入額	3,780,219,422			
退職手当引当金繰入額	2,428,083,595			
その他	5,605,610,849			
物件費等	164,705,389,025			
物件費	92,554,228,909			
維持補修費	13,659,456,359			
減価償却費	57,861,902,486			
その他	629,801,271			
その他の業務費用	17,240,281,974			
支払利息	14,069,563,508			
徴収不能引当金繰入額	637,769,300			
その他	2,532,949,166			
移転費用	327,265,162,480			
補助金等	29,151,409,701			
社会保障給付	296,939,614,054			
その他	1,174,138,725			
経常収益	67,142,544,511			
使用料及び手数料	57,135,867,190			
その他	10,006,677,322			
純経常行政コスト	515,158,245,424			
臨時損失	840,666,251			
災害復旧事業費	0			
資産除売却損	456,492,760			
損失補償等引当金繰入額	0			
その他	384,173,491			
臨時利益	2,970,266,896			
資産売却益	82,250,644			
その他	2,888,016,252			
純行政コスト	513,028,644,779		513,028,644,779	
財源	494,143,035,938		494,143,035,938	
税収等	330,847,920,292		330,847,920,292	
国県等補助金	163,295,115,646		163,295,115,646	
本年度差額	-18,885,608,840		-18,887,909,201	2,300,361
固定資産等の変動(内部変動)		-5,943,193,317	5,943,193,317	
有形固定資産等の増加		70,847,956,018	-70,847,956,018	
有形固定資産等の減少		-78,024,101,249	78,024,101,249	
貸付金・基金等の増加		9,680,127,404	-9,680,127,404	
貸付金・基金等の減少		-8,447,175,490	8,447,175,490	
資産評価差額	-50,278,020		-50,278,020	
無償所管換等	6,256,164,203	6,256,164,203		
他団体出資等分の増加	0			0
他団体出資等分の減少	0			0
比例連結割合変更に伴う差額	182,933,000	0	182,933,000	
その他	21,637,077,011	-241,431,000	21,878,508,011	
本年度純資産変動額	9,140,287,354	21,261,866	9,116,725,127	2,300,361
前年度末純資産残高	803,804,891,994	2,056,022,101,895	-1,252,169,807,581	-47,402,319
本年度末純資産残高	812,945,179,348	2,056,043,363,760	-1,243,053,082,454	-45,101,959

【様式第4号】

## 連結資金収支計算書

自 平成27年 4月 1日

至 平成28年 3月31日

(単位:円)

科目	金額
<b>【業務活動収支】</b>	
業務支出	525,713,914,579
業務費用支出	196,046,796,099
人件費支出	75,771,822,425
物件費等支出	103,646,653,522
支払利息支出	14,069,563,508
その他の支出	2,558,756,644
移転費用支出	329,667,118,480
補助金等支出	31,553,335,701
社会保障給付支出	296,939,644,054
その他の支出	1,174,138,725
業務収入	546,628,827,036
税込等収入	331,087,554,362
国県等補助金収入	148,785,895,156
使用料及び手数料収	56,792,751,234
その他の収入	9,962,626,285
臨時支出	384,173,491
災害復旧事業費支出	0
その他の支出	384,173,491
臨時収入	538,547,281
<b>業務活動収支</b>	<b>21,069,286,248</b>
<b>【投資活動収支】</b>	
投資活動支出	63,891,560,648
公共施設等整備費支	54,763,867,244
基金積立金支出	8,495,821,944
投資及び出資金支出	13,051,100
貸付金支出	618,820,360
その他の支出	0
投資活動収入	23,859,760,381
国県等補助金収入	13,947,781,411
基金取崩収入	8,278,043,099
貸付金元金回収収入	519,877,391
資産売却収入	1,114,056,480
その他の収入	2,000
<b>投資活動収支</b>	<b>-40,031,800,267</b>
<b>【財務活動収支】</b>	
財務活動支出	69,457,232,356
地方債等償還支出	69,219,354,984
その他の支出	237,877,372
財務活動収入	85,445,926,317
地方債等発行収入	85,445,926,317
その他の収入	0
<b>財務活動収支</b>	<b>15,988,693,961</b>
<b>本年度資金収支額</b>	<b>-2,973,820,058</b>
前年度末資金残高	32,662,257,593
比例連結割合変更に伴う差額	88,287,000
<b>本年度末資金残高</b>	<b>29,776,724,535</b>
前年度末歳計外現金残高	667,373,040
本年度歳計外現金増減額	-90,627,242
本年度末歳計外現金残高	576,745,798
本年度末現金預金残高	30,353,470,333

平成27年度 新潟市財政指標

※用語の説明及び算出の仕方は、次項をご覧ください。

市町村名	モデル	平成27年度末											
		住民一人あたり資産額(千円)	歳入額対資産比率(%)	資産老朽化比率(%)	純資産比率(%)	将来世代負担比率(%)	住民一人あたり負債額(千円)	基礎的財政収支(千円)	住民一人あたり純行政コスト(千円)	住民一人あたり人件費・物件費等(千円)	行政コスト対公共資産比率(%)	行政コスト対税収等比率(%)	受益者負担の割合(%)
新潟市	統一	1,604	3.7	51.7	51.4	29.7	780	△ 18,945,556	358	206	24.7	—	4.5

平成26年度 政令市の財政指標参考比較(普通会計財務書類)

市町村名		モデル	平成26年度末											
1	新潟市	統一	1,600	3.6	50.6	53.4	29.1	746	△ 31,672,108	361	210	24.9	—	4.2
2	札幌市	改訂	1,992	4.3	47.0	68.1	19.9	636	△ 13,440,025	347	146	21.0	97.7	3.7
3	仙台市	改訂	2,339	4.1	46.6	61.6	27.1	899	△ 7,544,774	325	168	18.5	87.0	4.3
4	さいたま市	改訂	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	千葉市	基準	2,944	4.1	—	49.2	32.8	1,496	27,324,490	412	115	17.4	—	15.2
6	川崎市	基準	1,207	6.8	—	74.7	17.3	305	△ 11,537,457	113	36	11.2	—	8.1
7	横浜市	改訂	6,629	5.2	67.3	70.1	20.1	1,984	27,100,000	768	330	13.8	96.7	6.2
8	相模原市	改訂	1,202	3.2	53.8	61.1	22.6	468	△ 5,861,069	284	137	25.7	99.0	3.5
9	静岡市	改訂	1,909	4.9	48.1	64.4	21.9	681	△ 1,753,553	307	161	18.3	98.8	4.1
10	浜松市	基準	2,464	6.9	—	83.5	8.7	407	8,122,584	258	96	11.7	—	5.6
11	名古屋市	改訂	1,985	4.2	67.1	56.1	32.0	871	65,321,000	337	144	23.3	103.2	6.4
12	京都市	統一	2,540	4.0	58.3	57.3	27.2	1,084	1,058,000	370	170	19.0	—	6.5
13	大阪市	改訂	3,184	4.8	51.2	61.4	29.1	1,230	85,293,300	465	186	19.6	96.2	5.4
14	堺市	基準	2,489	5.8	—	78.3	11.2	540	△ 19,377,335	330	104	15.0	—	6.6
15	神戸市	改訂	3,880	8.3	52.1	76.1	17.0	926	27,477,720	368	179	11.7	103.0	7.1
16	岡山市	改訂	1,354	3.2	52.5	63.5	20.6	494	△ 12,589,992	303	146	27.4	90.4	4.8
17	広島市	基準	2,519	4.6	—	60.4	25.8	997	4,934,082	350	108	17.0	—	5.0
18	北九州市	改訂	3,027	5.6	47.6	63.3	25.6	1,112	△ 1,589,043	389	188	15.3	104.3	5.5
19	福岡市	改訂	2,559	4.6	48.5	61.3	29.5	989	26,996,446	346	154	17.5	96.5	6.8
20	熊本市	改訂	1,376	3.3	—	60.7	—	541	298,100,000	321	146	—	97.1	5.6
政令市平均			2,484	4.8	53.1	64.4	23.2	863	24,545,382	355	154	18.2	97.5	6.0
政令市平均(統一)			2,070	3.8	54.5	55.4	28.2	915	△ 15,307,054	366	190	22.0	—	5.4
政令市平均(基準)			2,325	5.6	—	69.2	19.2	749	1,893,273	293	92	14.5	—	8.1
政令市平均(改訂)			2,620	4.6	52.9	64.0	24.1	903	40,625,834	380	174	19.3	97.5	5.3

※平成22年3月総務省発表の「地方公共団体における財務書類の活用と公表について」の指標を基に、各政令市HP等を参考に新潟市で独自に試算。

※平成28年8月末現在、さいたま市は未公表

※千葉市は単体ベース

## 財政指標の用語及び算出の仕方

(総務省「地方公共団体における財務書類の活用と公表について」に基づく算出)

### 1 住民一人あたり資産額 (千円)

$$\text{住民一人あたり資産額} = \text{資産合計} / \text{住民基本台帳人口}$$

住民一人あたり資産額を算出することにより、将来世代に残っている資産がどれくらいあるかを表し、資産形成度を比較します。本市の資産額が政令市平均より下回っている要因として、改訂モデル採用の都市との比較では、政令市としての経過年数が他の政令市より短いことから、政令市の移譲事務である国県道の整備に基づく生活インフラ・国土保全の資産が少ないこと、また基準モデル採用の都市との比較では、昭和43年以前の全ての資産を計上していることなどがあげられます。

### 2 歳入額対資産比率 (年)

$$\text{歳入額対資産比率} = \text{資産合計} / \text{歳入総額 (収入合計+期首歳計現金残高)}$$

当年度の歳入総額に対する資産の比率を算定することにより、これまで形成されたストックとしての資産が、歳入の何年分に相当するかを表し、これまでの資産形成施策へのシフト度合いを測ることができます。

### 3 資産老朽化比率 (%)

$$\text{資産老朽化比率} = \text{減価償却累計額} / (\text{有形固定資産}-\text{土地}+\text{減価償却累計額})$$

有形固定資産のうち、建物や工作物など耐用年数のある償却資産について、取得価格に対する減価償却累計額の割合を計算することにより、耐用年数に対して資産取得からどの程度経過しているのかを表します。都市基盤や各種施設の整備に対する老朽化の度合い、資産の延命化や施設の見直しの必要性などがわかります。

### 4 純資産比率 (%)

$$\text{純資産比率} = \text{純資産総額} / \text{資産総額}$$

地方公共団体は、地方債の発行を通じて、将来世代と現世代の負担の配分を行っており、純資産の変動は、将来世代と現世代との間で負担の割合が変動したことを意味します。将来に対する行政サービスを提供するうえで、現世代が自らの負担によって将来世代も利用可能な資産をどのくらい蓄積しているかを表しますが、純資産の減少は、将来世代に負担が先送りされたこと(負債比率の増)を意味します。

### 5 将来世代負担比率 (%)

$$\text{将来世代負担比率} = (\text{地方債残高}+\text{未払金}) / (\text{公共資産}+\text{投資等})$$

都市基盤や各種施設の整備など、これまで形成された社会資本に対して、将来返済が必要な負債がどれくらいあるかを表します。地方債残高からは、社会資本形成の財源に直接充当していない臨時財政対策債や減税補てん債等は除きます。

6 住民一人あたり負債額（千円）

$$\text{住民一人あたり負債額} = \text{負債総額} / \text{住民基本台帳人口}$$

住民一人あたり負債額を算出することにより、将来世代に残っている負債がどれくらいあるかを表し、財政の持続可能性（健全性）を比較することができます。

7 基礎的財政収支（プライマリーバランス）（千円）

$$\text{基礎的財政収支} = \text{収入総額} - \text{地方債発行額} - \text{財政調整基金及び減債基金取崩額} \\ - \text{支出総額} + \text{地方債償還額} + \text{財政調整基金及び減債基金積立額}$$

公債の元利償還額等を除いた歳出と公債発行収入等を除いた歳入のバランスを表し、財政の持続可能性（健全性）を比較することができます。

8 住民一人あたり行政コスト（千円）

$$\text{住民一人あたり行政コスト} = \text{純経常費用（純経常行政コスト）} / \text{住民基本台帳人口}$$

住民一人あたり純経常費用（純経常行政コスト）を算出することにより、地方公共団体の経常的な行政サービスに係る費用がどれくらいかを表し、行政サービスの効率性を比較することができます。

9 住民一人あたり人件費・物件費等（千円）

$$\text{住民一人あたり行政コスト} = \text{行政コスト（人や物にかかるコスト）} / \text{住民基本台帳人口}$$

行政コストの中から人件費や物件費等に絞り込んで、住民一人あたりの行政コストを算出することにより、より具体的な行政サービスの効率性を比較することができます。

10 行政コスト対公共資産比率（％）

$$\text{行政コスト対公共資産比率} = \text{経常費用（経常行政コスト）} / \text{公共資産}$$

行政コストの公共資産に対する比率をみることで、どれだけの資産でどれだけの行政サービスを提供しているか（資産が効率的に活用されているか）を比較することができます。

11 行政コスト対税収等比率（％）

$$\text{行政コスト対税収等比率} = \text{純経常行政コスト} / \text{税収等}$$

税収などの一般財源等に対する純経常行政コストの比率を表すことにより、当該年度の税収等のうち、どれだけ資産形成の伴わない純行政コストに消費したかを比較することができます。この比率が100%に近づくほど資産形成の余裕度が低いといえ、さらに100%を上回ると、過去から蓄積した資産が取り崩されたことを表します。

12 受益者負担の割合（％）

$$\text{受益者負担の割合} = \text{経常収益} / \text{経常費用（経常行政コスト）}$$

行政サービスの提供に対する受益者負担の割合を表すことにより、受益者負担の水準を比較することができます。基準モデルの割合が高いのは、経常収益の中に財産収入や諸収入が加わるためです。



新しい「目」で、  
新しい「心」で、  
新しい「新潟市」